



TITLE:

目下の卸賣相場と小賣相場

AUTHOR(S):

戸田, 海市

CITATION:

戸田, 海市. 目下の卸賣相場と小賣相場. 經濟論叢 1920, 11(6): 793-808

ISSUE DATE:

1920-12

URL:

<https://doi.org/10.14989/127729>

RIGHT:

京都市帝國大學經濟學會 經濟論叢

第六號

第十卷

論 說

地租と地方團體との關係……………法學博士 神戸 正雄

植民地の財政政策に就きて(三)……………法學博士 山本美越乃

地代課税主義土地改良論者……………法學博士 河田 嗣郎

生計調査を論ず……………法學士 汐見 三郎

價值論上のリカアドとマルクス(三完)……………經濟學士 堀 經夫

時事問題

目下の卸賣相場と小賣相場……………法學博士 戸田 海市

雜 錄

英國現代の經濟學者と社會主義……………經濟學士 三田村 一郎

經濟地理學研究に對するグルーベル博士の……………經濟學士 黒 正 巖

竹越氏の「日本經濟史」に就て……………法學士 本庄榮治郎

石澤氏の「本邦銀行發達史」を讀む……………法學士 大森 研造

附錄……………本誌第十一卷總目錄……………

時事問題

目下の卸賣相場と小賣相場

戸田海市

一 両者の本末關係

本年四月の恐慌以來重要諸商品の卸賣相場が著しく下落せるに反し、小賣相場の下落は比較的僅少に止まつて居るやうである。恐慌以來の不景氣に由り民衆の所得減少及失業が次第に著しくなれるに係はらず、其生活に直接の關係ある小賣相場が此の如く僅かの下落に止まることは甚しく民衆の生活を壓迫するものである。故に今日の急務は小賣相場の正當なる下落を圖ることであると云ふ議論が近來諸方面から起つて來た。吾々が目下の小賣相場の問題を考へるに付ては、先づ卸賣相場と小賣相場とが本來如何なる因果關係を有するや、又両相場の高低の遲速大小は如何なる程度に相一致するものなりやを明かにし、更に恐慌以來の特種の經濟事情が両相場の關係に如何なる影響を及ぼしつゝありやを明にすることを要する。

世人が卸賣相場の下落の大なるに係はらず、小賣相場の下落が割合に小なることを批難するに方つては、通例小賣相場なるものか卸賣相場に由て決定せらるべきものであると云ふ考へか横つて居る。此考へを一概に誤れりと斷することは出来ないか、併し之を承認するには種々の條件を要する。個々の小賣商人は少數の消費者特に小區域内に於ける少數者を相手として營業する者であるから、大市場に配給せられる爲めに生産せられた商品の相場を獨立に決定するの地位に立つことは非常に困難危険である。故に商業界の實際を見れば小賣商人は卸賣商人より仕入れたる相場に一定の歩合を加へたものを小賣相場とすることを常とする。併し乍ら商品か一旦ひ市場に提供せられた上は、之に對して一般消費者の認むる價值に由て取引するの外はない。故に卸賣商人か相場を定むるに方つては一般消費者か如何なる價值を認むるやを考へねはならぬのであるか、一般消費者の認むる價值は小賣相場となつて現はれるものである。故に卸賣商人か或商品の相場を定むるに方つては、其商品の配給せらるゝ市場全體に通ずる小賣相場を考へて之を定めねはならぬ。卸賣商人の相場の決定か當を得た場合には、個々の小賣商人は殆んど機械的に之に一定歩合の口錢を加へたものを以て小賣相場としても差支へはないが、卸賣相場の決定か不當である場合に此の如く機械的に之に基きて小賣相場を定むるときは或は供給過剰となり、或は供給不足となるを免れぬ、故に此の需供の不適合を調節する爲め小賣相場を獨立に増減せねはならぬ。小賣

相場か此の如き變調即ち獨立の高低を示すときは、卸賣商人は更に此變調を研究して卸賣相場を改定せねばならぬ。此改定が迅速正確に行はるゝときは、小賣相場も著しき變調を呈するに至らず、再び卸賣相場に追隨することゝなるのである。

之に由て見れば小賣相場か卸賣相場に由て決定せらるゝことを適當とし有利とするは、其卸賣相場か正當に決定せられた場合に限られる。而して小賣相場か卸賣相場に従ふて動く場合に於ても、一方か今日高低すれば他方も直ちに明日より高低し、又一方か一割方の高低を生すれば他方も亦一割方の高低を生すると云ふか如く、両者か迅速正確に一致することは望まれない。両者の高低の遲速と程度とには常に相當の距離の存することを免れぬのであるか、戰爭以來一般の卸賣相場か先づ極端なる投機に由て攪亂せられ、更に本年に入つて激烈なる恐慌に襲はれたから、其の小賣相場に對する距離か益甚しくなつたやうである。只た果して今日両相場の間に世人の想像するか如き大なる距離か存するやを明かにすることは困難である。何れの國に於ても卸賣相場の統計的調査の如く小賣相場の夫れを正確ならしむることは困難であるか、我國に於ては小賣市場の組織の混雜不規律なるか爲めに、信用し得へき小賣相場の調査を得ることか特に困難となつて居る。卸賣相場の調査は生産問題を研究するに必要であるか、分配問題及生活費問題を研究するには勞銀調査と同時に是非とも小賣相場及家賃の調査を必要とする。從來公私諸方面に於て卸賣相場の

調査には相當の努力を拂はれて居るか、小賣相場の調査が甚しく閑却せられて居ることは遺憾である。

二 両者變動の緩急

小賣相場の變動か卸賣相場の夫れと異なるは其變動の緩慢微弱なることである。元來卸賣に於ては個々の取引の金額が大であるから、其相場に百分の一二と云ふか如き高低が起つても取引當事者に重大の利害を及ぼす。故に例へは一梱千圓以上の生糸の相場に拾圓貳拾圓の高低が起れば、新聞紙は之を暴騰暴落として報道する。然るに個々の小賣取引は一般に小額のものであるから、百分の一二と云ふか如き相場の變動が起つても一般消費者は左まで之を重要視しない。従つて又小賣商人も此の如き細微の高低を生せしむるの必要を認めない。加之小賣取引に於て多く通用する所の拾錢五錢壹錢等の小貨幣を以てしては、此の如く細微の高低を個々の取引の上に實現するの困難なる場合も少なくない。

商人同志の間に行はるゝ卸賣取引に於ては需要供給に影響を及ぼす總ての事情が注意せられ、其の何れに變動が起つても忽ち取引相場の上に變動を生せしめる。然るに一般消費者は其の需用する各種商品の市況に關する智識を有せず、又多くの消費者は其需用物の購買に方り商人の如く利

害の打算に鋭敏でない。若しも消費者にして少數の需用物の購買に其所得を集中支出する者であるならば、之か取引に付て大なる注意を爲すてあらうか、一般消費者は其所得を細分して多種類の商品に對し之を支出する。故に其の各種商品の取引に付て盡く充分の注意を拂ふことは不能であり、又個々の取引額の細微なる爲め此の如き注意を拂ふの必要を感じることも少ない。是れ本來營利に敏感なる商人と雖も、消費者として取引を行ふに方つては案外に無頓着となる一原因である。一般消費者か此の如き態度を採つて取引を行ふときは、其取引が必然慣例に支配せらるゝ惰性的のものとなり、取引の上に變動の起ることを欲しない。従つて小賣相場も以前と同一であるならば一般消費者は安心して取引する傾向がある。

更に小賣相場の高低は一般消費者の購買力の増減を示すものである。此購買力は常に其所得の増減に由て機械的に決定せらるゝものと見ることを得ないとしても、大體其増減に伴ふものなることは争はれない。而して個々消費者の所得の源泉は甚だ區々であり、中には其所得が急激の増減を示すものもあるか、消費者全體を通しての所得には左まで急激の増減かない。従つて消費者全體の所得の増減に直接の關係を有する小賣相場にも急激の變動が起らない。又其急激の變動の起ることは一般消費者の苦痛とする所である。今日の文明國に於て消費者として重要な地位を占むる勞働者及公私役員階級の所得の増減に付て見るに、役員の俸給が強い固定的傾向を有するは勿論、

勞働者の勞働も物價よりは緩慢に高低するのである。元來役員勞働者の如きは其所得の大小に係らず殆んど其全部を生活費に投し、小賣市場に對して需用を起す者であるか、彼等の所得は此の如く固定的傾向を有するから其需用金額に著しき増減を生しない。資本家就中大企業者の所得は景氣不景氣に由て著大の増減を爲すものであるが、其増減は主として投資起業の上に伸縮を來たし、從つて卸賣市場の商品として重要な地位を占むる原料半製品に對する需用の著しき増減を示すこととなる。然るに此等資本家の生活費の大きさは其貯蓄投資の如く所得の増減と密接の關係を以て伸縮するものでなくて可なり固定的傾向を有し、從つて彼等の小賣商品に對する需用も急激の増減を示さない。此等の理由より戰爭以來の好景氣時代には卸賣相場が常に急激の騰貴を示せるに反して小賣相場の騰貴は緩慢であつたか、一方には本年四月の恐慌以來は卸賣相場の下落の急激なるに反して小賣相場の下落が緩慢になつて居る。

卸賣取引に於ては廣き區域と長き時日とに於ける需用供給の狀況が考量せられるから、其取引は本來投機思惑の要素を含むことが多い。又相當の資力を有する者が投機取引を行はんとすれば大量取引に付て之を行ふことを必要とし、從つて取引所取引又は卸賣取引に付て之を行ふことを要する。卸賣に於ける投機は平時に於ても絶へず或程度に行はれて居るか、戰爭以來の好景氣に刺戟せられて一般の卸賣取引が頗る投機的となり、特に取引額の大なる重要な卸賣商業はと甚しく

投機的となつた。卸賣か此の如く投機的となるときは、其相場が動もすれば、小賣市場の堪へ得る程度を超へ、即ち一般消費者の購買力の増加を超へて騰貴することとなるか、此の如き騰貴は卸賣商品の停滯を生じて騰貴の勢を挫くこととなる。戦争以來卸賣相場は幾回も此の如き相場の行き過ぎと小頓挫とを繰返しつゝ進んだか、本年四月までは大頓挫を生ずることを免れた。此大頓挫の生ずるまでは小賣相場は大體に卸賣相場の騰貴に及ばなかつた。只た小賣商人は我か小賣市場の亂雜不規律なるに乗して或は商品の品質を下たし、或は其量目を減して利益を貪ることを忘れなかつた。戦争以來の我輸出貿易に於て非常なる粗製濫造の不正取引が跋扈したと稱せられたか、實は内地市場就中其小賣市場に於ても甚しき不正取引が行はれたことは争はれない事實である。故に過去的好景氣時代に於て小賣相場の騰貴か卸賣相場に比して緩慢であつたことは、實質上から見て相當の割引を必要とする。

投機取引が最も盛んに行はれ、従つて其相場に最も急激の高低を生ずるものは、大量取引の行はるゝ重要原料品又は半製品であるか、此種の大量商品は卸賣取引に於て重要な地位を占むるに反し、小賣取引に於て重要な地位を占むる商品は原料に對して種々の加工を爲したる精製品である。此精製品の生産費は急激の騰落を示す所の原料以外に種々の加工費用より成立たものであるから其相場の高低歩合が原料の夫れに比して小となることが當然である。又同一の商品が卸賣小賣双

方に於て取引せらるゝ場合に於ても、仔細に其商品を検すれば其の小賣取引に於けるものは卸賣の夫れに對して技術的に可なり加工せられて居る場合が少なくない。又兩取引に於ける商品が技術的に全然同一なる場合と雖とも、我國の日用品小賣取引の方法は、小賣商人が消費者各戸に就きて注文を取り商品を配達し、且つ其代金支拂は掛け賣りとすることを常とし、之が爲め小賣商人は多大の費用と危険を負擔せねばならぬ。即ち小賣商人は技術的には卸賣商人と同一の商品を取扱ふ場合と雖も、經濟的には其商品が無形なる多大の加工を施されており、従つて技術的に加工せられたる小賣商品と同じく、其相場の變動が卸賣の夫れに比して緩慢となるのである。

三 兩者現在の關係

小賣相場の變動を緩慢ならしむる上述の諸原因は今回の物價下落の際にも存在し、之が爲め卸賣相場の下落の大なるに比して小賣相場が下げ足らぬこととなるのである。此事は目下の歐米に於ても大體に同様であるが、此外今日の我經濟界に於ては小賣相場の下落を緩慢ならしむる特種の事情も存在する。其の主なるものを擧ぐれば第一戦争以來の投機熱は汎く經濟界に行き渡つたが特に資力の強大なる商人即ち重要な卸賣商人の多數が大膽無謀の投機を行ひ、遂に本年四月の恐慌を生ずるに至つた。彼等の投機を行ふや自家經營の卸賣營業に關係なき株式米穀の投機取引

にまで手を擴げた者も少なくなかつたが、更に重大なるは其の専門とする所の商業をば純然たる卸賣又は問屋業より轉じて取引所取引と同様の投機業とし、所謂仲間先物取引を其營業の本體なるが如く盛んに行ひしのみならず、現物の取引を行ふに付ても思惑的に過度の貯藏を企て、之が爲め生産者の手を離れたる商品が仲間の卸賣商人に抑留せられたものも多く、小賣市場に現はるるものが割合に少なかつた。戦争前には重要生産地の生産者又は卸賣商人と重要な地方消費地の卸賣商人とが直接の取引を初め、從來兩者の中間に立ちて全取引を支配したる中央市場の卸賣商人を排除するの運動が次第に強まり、其結果中央の大卸賣商人の間に於ける生存競争が激烈となり、従つて彼等は豊富なる資力を有するに係はらず、地方商人又は小賣商人に對して大なる讓歩的態度を採り來つたのであるが、戦争以來資力の強大なる卸賣商人が投機取引に由て更に大に其實力を増大し、商品の思惑的の抑留貯藏をも盛んに行ふた爲め、小賣商人は再び卸賣商人の鼻息を窺ふて商品の配給を受けねばならぬ有様となつた、故に去四月の恐慌の際にも小賣商人にして過多の商品を思惑的に仕入れて失敗したる者は少なく、従つて小賣市場に於て投賣の行はれたのは僅少の部分に止まつた。之に反して卸賣市場に於ては重要商品の殆んど總てが投賣的に處分せらるゝの已むを得ざるに至り、従つて其相場の下落も小賣市場の夫れに比して著しく急激であつたが、卸賣小賣兩者の勢力關係の此變化は今尙は繼續して兩者の相場の上に現はれて居る。而

して小賣相場の下落程度の少なかったことは、投賣的に貯藏商品を處分するの必要に迫られたる卸賣商人をして、獨り卸賣的に之を投賣せしめたるのみならず、自から小賣商的の投賣を試みる者を多からしめた原因であつた。

次に注意すべきは重要原料品の主なる部分は卸賣商人の手に存するか、精製品に至つては小賣商人の手にも多く存在する。戦争以來の投機取引は主に重要原料に付て行はれ、其相場を特に暴騰せしめた爲めに、其生産及輸入をも刺戟することか特に強く、之に比すれば精製品の生産及輸入は少なかった。其結果原料の供給過剰の甚しくなれるに反し、精製品の供給過剰は少なかった。此事たる好景氣の際には常に現はれる傾向であつて、今回は此傾向が特に強かつたのであるが、更に注意すべきは恐慌以來主要原料の生産輸入は相當に永く繼續したるに反し、精製加工の事業は早く休業したのも少なくなかつた。之か爲め原料供給に比して製品供給の割合を更に少なからしめた。是亦小賣市場の相場下落を比較的少なからしめた一原因である。而して重要原料の生産が繼續せられたるに反し精製加工事業の休止したのは、必しも後者の經營が賢明なる方針に由て行はれた爲めとは云はれない。前者の生産は通例資力豊富なる大企業に由て經營せられ、従つて恐慌が起るも忽ちに休業するの必要に迫られない。加之一方には思惑的に過多の原料が仕入れてあり、他方に生産休止を爲さんとすれば巨大なる固定資本の休止及多數職工の解雇の不利を生ず

る爲め、容易に生産收縮を斷行するを得なかつた。之に反し精製業は概ね小企業であり、従つて恐慌の爲めに金融が杜絶すれば生産の繼續が忽ち困難に陥る者が多きのみならず、其生産方法の大なる部分は家内工業的であるから、生産を休止するも大企業の如き損失を蒙らないからである。此の如く比較的に伸縮自在なる精製業は原料相場の不安定なる間は全く見込生産を差控へ、目前の實需用に應ずる丈の生産を行ふて居たから、其生産物は平素の如く卸賣商業の仲介を借らず直接に小賣市場に提供せらるゝ場合が多くなつた。

最後に戦争以來小賣商業の費用が卸賣に比して特に増加したことをも注意せねばならぬ。商業に於けると其他の産業に於けるとを問はず労働の費用は次第に増加する。特に下等労働の勞銀はと騰貴の割合が強い。故に卸賣に比して特に多くの労働就中低級の労働を多く必要とする小賣商業が此點よりして生産費の増加を生ずることは當然であるか、我國の小賣商業は歐米と異つて非常に多く労働を要する。是れ一般小賣商業が消費者各戸に就て注文を取り商品を配達する方法を採るか爲めてある。而して勞銀の騰貴の傾向は戦争前より現はれて居たか、戦時及戦後の好景氣に際して勞銀の騰貴が急激に起つた。此事は産業の總ての方面に現はれたのであるか、商業に於ては特に労働費用の増加の割合が大となつた。以前には商業使用人即ち丁稚番頭となることは、後日獨立して商業を營む爲めの修業と見做された爲めに、此等使用人は食事宿泊以外に勞銀手當を

給せらるゝことが極めて少なかった。近來小賣商業も次第に大規模となつて資本を多く必要とするに至り、従つて商業使用人が獨立の營業を開始することか困難となつたか、併し戦前までは尙ほ慣習的に商業使用人は極めて低廉に其勞働を供給して居つた。然るに戦争以來の勞働供給不足の爲め待遇の不良なる商業方面には勞働を得ることか至難となり、之か爲め已むを得ずして俄かに丁稚番頭の報酬を増加し、特に以前と異つて月給制度を採用し又公休日をも與ふるに至つた。戦前には工場勞働者となるよりも商業使用人となることか上品であること云ふ考へか尙ほ強かつたから、其報酬の低きに係はらず之を志望する者か多かつたか、戦争以來社會思想の發達に伴ふて世人の勞働者の地位に對する考へか大に變化した。故に今後商業に於て特に低廉の勞働を使用することは益困難となるてあらう。我國の小賣商業が非常に多くの勞働を使用するに係はらず、從來卸賣相場に對する小賣相場の増加歩合か、歐米就中米國と對比して割合に少なかつたのは、主として我商業使用人が極めて低廉の勞働に甘んじた爲めてあつた。故に商業使用人の勞銀の高くなる今後は大に勞働節約の方法を講せねはならぬか、其の爲めには一般消費者の生活慣習か大に改良せられねはならぬ。尙ほ小賣商業は卸賣に比して店舗費用就中家賃を要する割合も大であるか、戦争以來都市人口の大膨脹に係はらず、家屋の建築か甚た不充分であり、之か爲め不景氣を嘆しつゝある今日に於ても尙ほ家屋の不足と家賃の騰貴とが止まない。此點も今日の小賣商業の

費用を特に大ならしむる一原因である。

四 小賣市場の改善は消費者の覺醒

我國民一般の消費生活は今尙ほ甚だ不規律無節制であるから、之と直接關係を有する小賣商業も亦依然として舊時の陋態を脱しない。我國民は都會に住居し乍らも交通不便にして定住商人の存在せざる村落の住民の如く、小賣商人の戸口に巡回し來るを待つて日用品を購買せんとし、從つて都會の小賣商人が概ね幼稚劣惡なる行商的性質を帶ふることか強い。又我國の小賣商業は一般に掛賣りの方法に由て經營せられて居るか、小賣商人は元と資力の最も貧弱なる商人であるから、國民が彼等より月々の需用物を掛賣に由て供給せらるゝと云ふことは、即ち貧困なる商人より月々の生活費を前借りして生活することを意味する。一般消費者が此の如く禁治產者の生活振りを爲すに於ては、之を相手として營まるゝ小賣商業が腐敗するのは當然である。又小賣商人が誠實に之を經營しても其生産費が多額となることを免れぬ。然るに從來卸賣相場に對する小賣相場の増加歩合を見るに、我國が歐米に比して其割合に高くなかつたのは、前述の如く主として我商業使用人が從來は極めて低廉の勞働に服したからである。即ち一般消費者は憐むべき商業使用人の虐使に由て利益して居たのであるか、今後此の如き狀態は最早や繼續するを得ない。

小賣相場の關係より小賣商業使用人の待遇問題に觸れた序を以て、今一つ其待遇上の重要點を擧げて世人の注意を促かしたい。我國で小賣商業の改善と云へば先づ消費者の立場より見て小賣相場を低廉ならしむることであり、更に其社會的改善としては丁稚番頭の物質的待遇の改良、就中其報酬の増加が重要視せられて居るか、吾々は此外に切迫せる重大の道德問題が存在することに注意せねばならぬ。今日多くの小賣商業に於ては技術上及掛引上顧客を欺瞞することを以て重要な仕事と爲し、無垢の少年か丁稚小僧として商業に従事するには先づ斤量を欺り、枘目を盗み、劣等品を化粧して上等品の如く見せ、液體には水を割り、其他飲食品に對して健康上有害なる物體を混和し、又虚偽を以て顧客に應待するの修業を積まねばならぬ。又商業使用人をして此の如く良心の忍び難き不道德の勞務に服せしめ、特に日常親密に接觸する所の顧客に對して此の如き不正手段の實行を命ずることは、物價的の虐待以上の重大なる虐待である。今日労働者の肉體的の健康を保護する爲めには工場の設備労働時間等の取締りが重大視せらるゝに係はらず、商業労働者の精神的健康を蹂躪する上述の使用方法が何時までも看過せられることは出来ない。而して此弊害を矯正するには不正競争取締の制度を必要とするは明かである。一般労働者と共に商業使用人も大に覺醒に向ひつゝあるから、此の外部からの取締制度は内部から改善的努力を誘ひ起すこととなり、相當に改善の效果を生ずるであらうか、併し小賣商業に此の如き不正競争手段の行は

る、主たる原因は、我國民の消費生活の不規律な爲め商人の間に健全なる競争が起らないことである。又消費者の中には代金支拂の遲滯不履行に由り商人に損害を加ふるものか頗る多く、中流以上の消費者の中には封建時代に於けるか如く出入商人を自家の奉公人の如く取扱ひ、小額の買物に付て無益の手數を掛けさせ屈辱の不快を感じしめて平然たる者も頗る多く、之か爲め商人は自衛上隱密に不正を行ふて損害の輕減を圖らんとする場合も甚だ多い。従つて小賣商業に於ける上述の弊害は一般消費者の生活振りの改善に由らされは充分に矯正せられる見込はない。故に社會公衆は其消費生活改善を以て單に之を自家の利害問題として取扱ふに止まらず、更に商業上の社會問題解決の責任の上より之を取扱はねはならぬ。

小賣商業や手工業の如き小企業の維持發達を圖り特に百貨商店や工場工業の如き大企業の壓倒的競争に對して此等の小企業を保護することは、中産階級政策又は中層社會政策と稱せられ、戦前の獨逸諸國に於ては特に深く注意せられた所である。今の世に於て中層階級が社會構成上如何なる意義を有するや、又中層階級の中にて大企業に使用せらるゝ役員階級と自作農民小賣商人等の小企業者との何れか重きを爲すやに付ては種々の意見もあるであらう。我國の小賣商人の都會構成上に於ける地位は、我か田舎に於ける自作農民の如く重きを爲すものでないとしても、尙ほ可なり大なる程度に都會生活の代表者である云へる。此の如き地位を有する小賣商人か、封建時

代には賤劣階級視せられたる代償として看過せられたるか如き取引上の惡徳を今日まで繼續し、否な封建時代に於けるか如き同業仲間の強き制裁と、殆んど世襲的に得意關係の繼續せる爲めに消費者と其出入商人との間に自然に發生したる情誼關係との消滅したる今日に於ては、其惡徳が一層甚しくなつて居ることは國民道德上の重大缺陷である。小賣商業界に於ける此の如き慣習が一般實業道德の基調を爲して居るから、我國の實業道德は文明國に比類なき劣惡のものとなつて居る。故に我か小賣商業に付て改善の急を要するものは其物質關係の問題よりも寧ろ其精神的道德的破産狀態の救済でなくてはならぬか、之を救済すること前述の如く消費者としての國民一般の覺醒が必要である。小賣商人の惡徳なるものは單に小賣商人と稱する特種階級の固有する缺點ではなく、國民一般の缺點か之と接觸する小賣商業の上に反射して居るのである。此事は小賣商業上の缺點と性質を同ふする多くの缺點か、政治教育社交等の國民生活の他の諸方面にも殆んど同じ程度に現はれて居ることに徴しても明かである。